◆夢を育み 明日が待たれる 魅力ある学校づくり◆

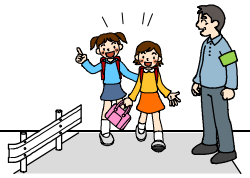
北教だより

茨城県県北教育事務所
令和６年10月11日（金）
第 ９ 号
電話　0294－34－0774
FAX　0294－32－0006
E-mail hokukyo@pref.ibaraki.lg.jp

働き方改革の推進に向けて各市の取組を紹介します

教職員の働き方改革にあたって、学校や教育委員会等との連携した取組を推進していただきありがとうございます。

県北教育事務所管内では、これまで働き方改革アクション会議を実施し、学校や教育委員会の取組や進捗状況について確認してまいりました。各市の取組や良好事例を紹介いたしますので、更なる働き方改革の推進の参考にしていただきたいと考えています。

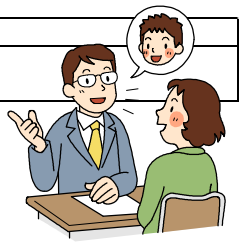


日立市教育委員会の取組

学校	○小学校における教科担任制の導入（学年内での交換授業を含む） →教材研究時間の削減と負担軽減 ○ローテーション道徳の導入（管理職による道徳の授業を含む）→教材研究時間の削減 ○日課の工夫（モジュール授業、清掃回数の削減等による授業時間短縮） →事務業務時間の確保 ○職員室等の環境整備 → 業務の効率上昇 ○職員が休暇を取りやすい環境づくり ○一人一人の働き方に合わせた管理職の声掛け
教育委員会	○通知表所見を年１回にすることによる教職員の負担軽減 ○校務支援システムの導入 ○Microsoft Forms を活用したアンケート調査の実施 →集約事務の負担軽減 ○定期的な学校長面談と学校訪問 → 働き方改革の意識向上 ○留守番電話にできる電話の設置 → 勤務時間削減及び事務業務時間の確保 ○デジタル教科書（指導者用の5教科整備完了）→ 教材資料の準備軽減 ○電子黒板通常学級全クラス配置 → 教材作成時間の削減 ○インターネットバンキングの導入（市から手数料補助） ○部活動の地域移行に向けた受け入れ団体の拡充
PTA・地域	○学校だより等のデータ配信 → 印刷時間の削減 ○朝の登校指導、下校の見守り活動のボランティア →時間外勤務の削減 ○部活動地域移行に向けた父母の会の立ち上げ （学校運営協議会等での協議を通して） →第１土日、第3土日の活動の移行

今年度取り組みたいこと、意識していること、成果と課題等

時間外在校時間の短縮	全月 平均 45.00 時間以内を目指す。
働き方改革の目的意識の再確認	子供たちに対する効果的な教育活動を行うこと （子供と向き合う時間は削減しない）



常陸太田市教育委員会の取組

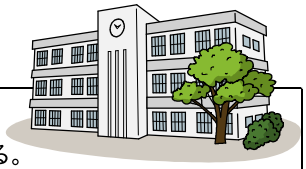
「若手教員が活躍できる時代をつくる」

学校	○教育課程編成の見直し →年間総授業時数の上限（1086未満）、週2日以上の5時間授業日の増設 ○タイムマネジメント力の習得 →業務の見通しをもつための週案作りと振り返り ○中学校部活動運営の工夫 →平日4日実施を3日へ、日数の縮小 ※週あたりの総活動時間は変更なし →合同部活動から拠点校部活動への移行を検討
教育委員会	○学習指導案形式の変更に伴う授業づくりサポート資料作成・提供（配信） →「単元構想シート」「リフレクションシート」「学習指導案形式説明動画」 ○2学期制の導入、夏休み期間の見直し →定期テストから単元テストへの移行、7／26→7／21 へ夏休み開始日を変更 ○教職員資質向上夏季研修会の実施 →働き方改革推進のための課題と具体的な方策、タイムマネジメントの事例紹介
地域	○町会長会議での情報交換 →いじめ問題の現状と未然防止、学校と地域の連携の在り方について

今年度取り組みたいこと、意識していること、成果と課題等

時間外在校時間の短縮	多忙時期の残業時間 60 時間超教員 5.5% → R7超過者ゼロ
働き方改革の目的意識の再確認	働きがいをもって自己の働きやすさを追求する

高萩市教育委員会の取組



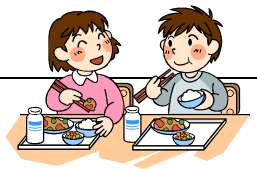
学校	○定期テストの廃止・縮減（中学校） →単元テストの導入 ○チーム担任制の導入（一部の中学校） →朝の会、帰りの会、給食指導等を学年担当でローテーションしている。 ○ローテーション道徳の導入（中学校） →一人の教員が同じ題材で複数学級の道徳を担当する。 ○日課の工夫（小中学校） ○夏季休業中における授業日設定、週2日5時間授業日の増設（中学校） ○定時退勤日の設定 ○行事の精選
教育委員会	○令和7年度より２学期制導入予定 →学習評価及び通知表作成による教職員の負担軽減 ○校務支援システムの導入 →県からの文書を市教委の鑑を添付して展開していたが、できるだけ掲示板に掲載して周知することにより、学校の文書受付業務を縮減している。 ○計画訪問における指導案作成の簡略化 →R5より完全版と略案（A4・1枚）を隔年で作成 ○部活動における一人指導体制の徹底 ○ICT を活用してのアンケート調査 ○全学級への電子黒板設置 ○民間施設と連携した水泳学習（小1～中3） ○休日部活動地域移行の推進 ○オンライン研修（これまで対面で行っていた研修をオンラインに変更） ○市教育委員会主催による新入学児童就学時検診
CS	○宿泊学習のサポート ○除草作業 ○授業支援 ○校内環境整備

今年度取り組みたいこと、意識していること、成果と課題等

働き方改革の目的意識の再確認	児童生徒と向き合う時間は削減しない。
これまでの慣例の見直し	・一律一斉の宿題 ・ドリルの丸付け（子供に任せる）

北茨城市教育委員会の取組

学校	○定時退勤日の設定（一斉、個人、選択等） →教職員の勤務時間の縮減及び意識化 ○小学校の教科担任制の導入 →担任の事務業務時間の確保 ○職員会議のペーパーレス化・各種便りのメール配信 →印刷業務等の削減 ○家庭との連絡方法の電子化 →健康観察アプリ等の導入による業務縮減 ○部活動オフシーズンの設定（平日2日間休養日の設定） →部活動指導時間の削減
教育委員会	○2 学期制の導入 →時間的なゆとりの創出によるバランスのとれた教育活動の推進 ○校務支援システムの導入・拡充 →ICT環境等の整備による業務の効率化 ○市独自の学校サポート人材の配置 →教職員の負担軽減、学校教育の活性化 ○給食費の完全無償化（R5年度より） →学校会計の公会計化 ○指導者用デジタル教科書の整備 →教材作成時間等の削減
PTA・地域	○コミュニティ・スクールの活用 →登下校支援、学校行事等へのサポートによる教職員の負担軽減 ○PTA活動等の見直し →PTA組織のスリム化（統合）による負担軽減



今年度取り組みたいこと、意識していること、成果と課題等

時間外在校時間の短縮	すべての教職員が 45 時間以内を目指す。
働き方改革の目的意識の再確認	児童・生徒と触れ合う時間を確保する。 （すべては子供たちの笑顔のために）

Check!

教職員の働き方改革の推進にあたり、参考となる文書・資料等を紹介いたします。必要に応じてご活用いただければと思います。

○「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について ～全ての子供たちへのよりよい教育の実現を目指した、学びの専門職としての「働きやすさ」と「働きがい」の両立に向けて～ （答申）」（中央教育審議会 令和6年8月27日）
○「令和5年度教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査結果等に係る留意事項について」（令和5年12月27日付け5初財務第14号）
○「全国の学校における働き方改革事例集」（文部科学省 令和5年3月改訂版）
○「茨城県市町村小中学校等教職員の業務見直しに係る提言～学校現場の声をもとに～」
（小中学校教職員の業務見直し検討会議 令和4年7月27日）